

※本文内の（ ）内の数値は志願者数の前年度確定数との対比指数を表します。

## ◎ 2 段階選抜実施状況

- 第 1 段階選抜不合格者数は前期で大幅増加、中期・後期はやや減少  
 大学別では、前期は東京大、中期・後期は山梨大が最多

〔第 1 段階選抜実施状況(不合格者数)〕

	前期				中期・後期				合計			
	2024年度	2023年度	増減数	指数	2024年度	2023年度	増減数	指数	2024年度	2023年度	増減数	指数
国立大	3,618	2,803	+815	129	3,681	3,696	-15	100	7,299	6,499	+800	112
公立大	795	1,008	-213	79	718	975	-257	74	1,513	1,983	-470	76
合計	4,413	3,811	+602	116	4,399	4,671	-272	94	8,812	8,482	+330	104

〔第 1 段階選抜不合格者数の多い上位 10 大学〕

順位	前期				中期・後期			
	2024年度		2023年度		2024年度		2023年度	
1	東京大	892	東京大	691	山梨大	853	宮崎大	529
2	東京工業大	407	東京工業大	438	一橋大	487	大阪公立大	513
3	東京都立大	360	福島県立医科大	338	大阪公立大	423	一橋大	471
4	一橋大	306	東京都立大	263	東北大	276	山梨大	429
5	愛媛大	239	大分大	233	福井大	274	旭川医科大	412
6	三重大	221	一橋大	220	琉球大	221	琉球大	382
7	長崎大	207	浜松医科大	195	旭川医科大	175	奈良県立医科大	254
8	福島県立医科大	186	島根大	184	奈良県立医科大	152	秋田大	193
9	和歌山県立医科大	179	川崎市立看護大	174	長崎大	135	東京都立大	188
10	大阪大	174	長崎大	89	九州大・鹿児島大	131	千葉大	163
全体	4,413		3,811		4,399		4,671	

2 段階選抜における第 1 段階選抜不合格者数は、前期は 602 人(116)の大幅増加、中期・後期は 272 人(94)のやや減少と増減が分かれました。全体では 330 人(104)のやや増加で、前年度から引き続きの増加でした。

前期では、国立大は 30%近い大幅増加でした。共通テストの平均点アップの中、難関国立大を中心に強気な出願が行われたことがうかがえます。一方で、公立大は 20%以上の大幅減少でした。

後期では、国立大は第 1 段階選抜を実施した大学・学部が前年度から 21 大学 26 学部→24 大学 29 学部に増加しましたが、不合格者数は 15 人減少の前年度並でした。公立大は、東京都立大や奈良県立医科大の志願者数減少を反映して大幅減少となりました。

なお、2025 年度入試での出願にあたっては、2 段階選抜実施の有無、予告倍率の変更などに注意を払うとともに、第 1 段階選抜合格者数の実数をチェックして、予告倍率通りに実施されたか、それとも緩和されたかを把握したうえで出願校を決定することが大切です。